

## 令和7年度退職教員の紹介

部局名	大学院教育学研究科・教育学部	
氏名	小国 喜弘	
職名	教授	
本学在職期間	平成 23 年 4 月～令和 8 年 3 月	
所属	教育学コース	
専門分野	日本教育史、インクルーシブ教育	
略歴	1989 年東京大学文学部国司学科卒業 1992 年東京大学大学院教育学研究科修士課程修了 1996 年東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学 1996 年～1999 年日本学術振興会特別研究員 1999 年博士（教育学）取得 1999 年～2001 年成城大学文芸学部講師 2001 年～2008 年東京都立大学助教授（後、首都大学東京准教授） 2008 年～2011 年早稲田大学教育学部准教授・教授 2011 年～東京大学大学院教育学研究科准教授 2013 年～東京大学大学院教育学研究科教授 2025 年～東京大学教育学部附属中等教育学校長兼務、現在に至る	
研究内容	1945 年を画期とする戦後における日本の教育史の展開を、子どもの権利保障との関連に焦点をあてつつ研究してきました。例えば、中公新書『戦後教育史』、2023 年。 インクルーシブ教育については、1970 年代の養護学校義務化反対運動に焦点を当てた編著『障害児の共生教育運動』（東京大学出版会）などを公刊しました。	